


〈本体商品の取付情報〉

年式	型式	車種	最大取付数		本体の取付方法						オプション		
			トレードイン	アドオン	キットレス	取付キット使用			備考	1D		2D	
						型番	主な付属品	希望小売価格(税別)		46サイズ		46サイズ	
H16/6~H27/9	DBA-DC5W DBA-DC5R	異形ラジオ付車(注1)			×					注1	×	×	Ⓜ 注7
		オーディオレス仕様車(注8)(1D+1D窓口付)	2D		×	KK-T40D [Ⓞ]	 P	7,000円	注2,3,4 5,7,9	Ⓞ 注6	Ⓞ 注6		

(注1) H16/6~H21/5車の全車に標準装備、およびH21/5~H25/7車にメーカーオプション設定されているAM/FMラジオ/CDプレーヤー付車、また、H16/6~H22/7車にディーラーオプション設定されているAM/FMラジオ/MP3対応6連奏CDチェンジャー付車の場合で、純正ラジオはモジュールタイプのクラスター一体型でステレオの交換取付けは不可。

(注2) クラスターの上下窓口の仕切り棧を切取る必要があります(但し、ディーラーオプションの2DINオーディオ/ナビ付車の場合は切取り不要です)。

(注3) 純正部品のオーディオサイドブラケットを必ず使用して取付けます……ディーラーオプションの純正ラジオ付の場合は、純正ラジオの右側面に付いているサイドブラケットを外して使用します。また、純正ラジオ非装着車の場合は、純正部品のオーディオサイドブラケット(D461-V6-025)を購入する必要があります。

(注4) 取付ける場合は、取外した車両側クラスターに取付キットを使用してステレオを先に組付け、右側面のリアブラケット取付ネジを一旦外し、純正部品のオーディオサイドブラケットを長穴の上方位置で、リアブラケットの上に重ねて共締めしてから車両へ取付け、オーディオサイドブラケットを車両側にネジ止めします。

(注5) 下段スペースは取付ける商品によっては、背面の端子やコード類が車両側ブッシュ受け部に当たる場合がありますので、その場合は車両側の当たる部分を切取り加工するか、または1Dサイズの場合は上段側へ取付ける必要があります。また、取付キットのリアブラケットがコード類に干渉する場合は、14mm前出し取付けをする必要があります。





(注6) 1Dサイズのオペレーションフラップ機構付の商品を取付ける場合は、キットに同梱のパネル窓口の上または下がフラップ開閉時に少し当たりますので、パネル窓口を少し削る必要があります。

(注7) 純正ステアリングリモコン(メーカー呼称「オーディオリモートコントロールスイッチ」)付車の場合、純正ステアリングリモコンにはそのままでは接続できません。オーディオ配線コネクター(24P)までステアリングリモコン用配線が引き回されている場合に、別売のステアリングリモコンアダプター KK-T202ST[Ⓞ](希望小売価格8,000円、税別)、または別売のステアリングリモコンケーブル KJ-H101SC[Ⓞ](希望小売価格1,500円、税別)を使用すれば車両側配線との接続は可能ですが、取付ける商品によって使用する別売オプションや使用可否が異なりますので、商品別の対応状況他の詳細については、必ず取扱・取付説明書や「純正ステアリングリモコン適合情報」等でご確認ください。但し、ランニングチェンジ(仕様変更)前の取付キットの場合はステアリングリモコンの信号取出用のケーブル(ギボシ)がないため、車両側のステアリングリモコン用配線に直接接続する必要があります。

(注8) オーディオレスはH16/6~H21/5車はメーカーオプション設定で、H21/5以降は全車標準です。






(注9) H22/7~H26/8車にメーカーオプションのオーディオレス+バックカメラ付車の場合は、バックカメラが使用不可になります。

〔取付キットの主な付属品の記号〕

接続が可能な配線	配線コネクターが付属	電源用アンブロックが付属	取付キットに化粧パネルが付属
	トレードイン取付け専用		
3電源(ACC、常時、イルミネーション)			P
3電源+フロント・スピーカー			
3電源+フロント・スピーカー+リア・スピーカー			

接続方法は取付キット内の取付説明書に掲載。

〔別売オプション関係の記号〕……マツダ車

Ⓞ	取付化粧パネルが不要	D46サイズをキットレス取付けする場合に、別売の化粧パネルが不要なことを表します。D46サイズを取付キットを使用して取付ける場合に、取付キット付属以外の、別売化粧パネルが不要なことを表します。
24 	マツダ車用配線キット KJ-T24P [Ⓞ] が使用可能	別売の専用配線キットが使用できます。24は24P車用でKJ-T24P [Ⓞ] (2,500円、税別)の適応車種です。
12 	マツダ車用配線キット KT-12P [Ⓞ] が使用可能	別売の専用配線キットが使用できます。12は12P車用でKT-12P [Ⓞ] (2,500円、税別)の適応車種です。特に、オートアンテナ装備車の場合にKT-12P [Ⓞ] を使用する場合には、オートアンテナ電源リレーが付属されていますので大変便利です(車種によっては電源リレーを使用しないとオートアンテナが動作しません)。
	FMダイバーシティアンテナ変換コードが必要	FMダイバーシティ方式アンテナ車にトレードイン取付けをする場合で、パイオニア・FMダイバーシティ機能内蔵チューナーデッキアンテナ/ハイダウェイチューナーを取付ける時には、別売のアンテナ変換コード RD-AN33(2,000円、税別)を使用します。
	車両の純正ステアリングリモコンが使用可能	別売のステアリングリモコンアダプター、または別売のステアリングリモコンケーブルを使用することにより、車両側のステアリングリモコン用配線との接続が可能であることを表します。 (注)…純正ステアリングリモコン付車でも、車種やグレード、仕様等により使用できない場合がありますのでご注意ください。
	汎用モニター取付金具が使用可能	汎用モニター取付キットKW-27V II [Ⓞ] (12,000円、税別)がシート取付ボルト部に取付可能です(車種により、助手席シートが当たったり、スライドが充分できなくなる場合がありますので、注記文に注意して取付けてください。また、車種によっては、KW-27V II [Ⓞ] 付属のロッドが使用できない場合もあります)。 (注)…KW-27V II [Ⓞ] は、助手席エアバック装着車で、エアバックの作動に支障のある場合には、ご使用にならないでください。

※表の見方については、本サイトの取付詳細情報(PDF)の見方、および基礎知識や用語解説などをご確認ください。

〈スピーカー商品の取付情報〉

タイプ	取付場所	注記 A	カスタムフィット							注記 B	ボックスタイプ				ユニットタイプ				サテライト		
			TS- C1630S F1030S F1630S F1630	TS- F1030S								TS- X480G X380	TS- X180	TS- E1796	TS- E1676	TS- E1396	TS- E1076	TS- G1030	TS- STH1100	TS- STH700	TS- STX510
ワゴン	Fドア		◎①	X									X	X	X	X					
	Rドア		◎①									X	X	X						△⑤ リアピ ラートリ ム	
	フレキシブル ボード								②	◎③	◎③	X④									
注記	① 取付ネジ穴位置が端寄りになるため、付属の平座金を使用して取付ける。																				
	② フレキシブルボードは樹脂成型の中空ボードで、上部とフロア部に装着が可能な移動式のボード。																				
	③ スペースには取付可能ですが、フロア部への移動が可能なボードで、また、上部に装着した状態でもスピーカーがリアシートバックに隠れる状態の取付となるため、推奨できません。																				
	④ フレキシブルボードの構造上、穴あけ加工が困難で取付不可。																				
	⑤ リアピラートリムに取付可能ですが、ヘッドレストが3段階調整のうち最上方位置ではスピーカーに当たります。但し、平均身長の人では3段階のうち1~2段目が使用位置となります(2段目迄はヘッドレストはスピーカーに当たりません)。																				

〔カスタムフィットスピーカーの記号〕

◎	取付可 (スピーカーに付属のコネクター使用)	⊕	取付可 (別売の配線コードでの配線が必要)
◇	取付可 (スピーカーに付属のブラケット等使用)	☒	取付可 (別売の「スピーカー取付キット」を使用し、別売の配線コードでの配線が必要)
□	取付可 (別売の「スピーカー取付キット」使用)	☒	取付可 (別売の「インナーバッフル」を使用し、別売の配線コードでの配線が必要)
回	取付可 (別売の「インナーバッフル」使用)	X	取付不可
◎	取付可 (配線加工が必要)	空欄	非適合、または未調査で取付可否不明
◆	取付可 (スピーカーに付属のブラケット等を使用し、配線加工が必要)		

〔ボックスタイプ/ユニットタイプスピーカーの記号〕

◎	取付可	△	取付可 (別売の「スパーサー」使用)
●	取付可 (鉄板加工が必要)	▲	取付可 (別売の「スパーサー」使用で、鉄板加工が必要)
○	取付可 (スピーカーに付属のスパーサー使用)	□	取付可 (別売の「スピーカー取付キット」使用)
●	取付可 (スピーカーに付属のスパーサー使用で、鉄板加工が必要)	X	取付不可
		空欄	非適合、または未調査で取付可否不明

〔サテライトスピーカーの記号〕

○	取付可	(X)	取付不可 (サードシート未使用時に限り取付可)
		X	取付不可
△	条件付きで取付可 (注記参照)	空欄	非適合、または未調査で取付可否不明

※表の見方については、本サイトの取付詳細情報 (PDF) の見方、および基礎知識や用語解説などをご確認ください。